

エレミヤ書 36 章 (70 人訳)

- 1 ユダの王ヨシアの子であるヨアキムの治世の 4 年目に主のことばが私に来ていう、
- 2 巻物の本をとれ、そしてその上に私がエルサレム、ユダ、全ての国々に対して
ユダの王ヨシアの時から今にいたるまで語った全てのことばを書け、
- 3 もしかすると、ユダの家は、私が彼らの上になそうとする全ての邪悪を聞き、
彼らはその邪悪な道から戻るかもしれない、そうしたら、私は彼らの不正や、
彼らの罪に対して慈悲深くなる。
- 4 それで、エレミヤはネリヤの子バルクを呼んだ： そして彼はエレミヤが彼に話した、
エレミヤの口からの主の全てのことばを巻物の本の上に書いた。
- 5 そしてエレミヤはバルクに命じていった、私は今獄屋にいる；
私は主の家に行けない；
- 6 それで、あなたは断食の日に主の家にいる全ての民、
彼らの街を出てきた全てのユダの耳にこの巻物のことばを読み、あなたは彼らに読め。
- 7 もしかすると彼らの懇願が主の前に来るかもしれない、
そして彼らはその邪悪な道から引き返すかもしれない；
それは主がこの民に語った主の怒りと憤怒が大きいからである。
- 8 それでバルクは、エレミヤが彼に全て命じたように行なった――
主の家で、本にある主のことばを読んだ。
- 9 そしてこのようになった、ヨアキム王の 8 年目の第 9 の月に、全てのエルサレムの人々、
ユダの家の人々は、主の前に断食を宣言した。
- 10 それで、バルクは、主の家でエレミヤの本のことばを律法学者サファンの子である
ガマリヤの家で、上の宮殿で、主の家の新しい門の入り口で、全ての民の耳に読ん
だ。
- 11 そしてサファンの子であるガマリヤの子であるミシャエアスは、
本からの主の全てのことばを聞いた。

- 1 2 それで、彼は王の家に下り、律法学者の家に入った：
そして見よ、全ての諸侯が座っていた、律法学者エリサマ、
セレミアスの子ダラエアス、アコボルの子ヨナタン、サファンの子ガマリヤス、
アナニアの子ゼデキヤ、そして全ての諸侯である。
- 1 3 そしてミカエアスは、彼らに彼がバルクから聞いたバルクが人々の耳に読んだ全ての
ことばを報告した。
- 1 4 それで全ての諸侯はネリヤの子バルクに送られてきた、
それでチュシの子、セレミアの子、ナタニアの子ジュデインは、いった。
あなたが人々の耳に読んだ巻物をあなたの手にとり、そして来なさい。
それで、バルクは巻物を取り、彼らとともに下った。
- 1 5 それで彼らは彼にいった、私たちの耳にそれをもう一度読んでくれ、
それでバルクはそれを読んだ。
- 1 6 そしてこうなった、彼らがこれら全てのことばを聞いたあと、彼らはそれぞれ隣人
と相談し、そしていった、我々は何とかして、これらのことばを王に語ろう。
- 1 7 そして彼らはバルクに尋ねていった、どこであなたはこれらのことばを書いたの
か？
- 1 8 それでバルクはいった、エレミヤが私に彼の口からこれらのことばを語ったのです、
それで私はそれらを本に書いたのです。
- 1 9 そして彼らはバルクにいった、行け、そして隠れろ、あなたもエレミヤも；
誰にもあなたがどこにいるか知らせるな。
- 2 0 そして彼らは宮廷の王のところに行った、そして巻物をエリサマの家を守るものに
与えた； そして彼らは王にこれらの全てのことばを告げた。
- 2 1 それで、王はジュデインを巻物を取りに遣わした：
そして彼はそれをエリサマの家から取り出した；そしてジュデインは、
王の耳に読んだ、そして王を困んでいる全ての諸侯の耳に読んだ。

- 2 2 今王は冬の家座っていた：そして彼の前の暖炉には火があった。
- 2 3 そしてこうなった、ジュデインが3、4片読んだとき、彼は律法学者のペンナイフを持って切り、そして暖炉の火の中に投げた、暖炉の中の火により巻物すべてが燃え尽きるまで。
- 2 4 そしてこれら全てのことばを聞いた王も彼の従者も主を求めず、彼らの衣を裂かなかった。
- 2 5 しかしエルナタンとゴドリマスは、王に彼が巻物を燃やすよう示唆した。
- 2 6 そして王は王の子であるエレミエールとエスリエルの子であるサラエマスにバルクとエレミヤを連れてくるよう、命令した：しかし、彼らは隠れた。
- 2 7 王が巻物を燃やし、バルクがエレミヤの口から書いた、全てのことばも、燃やした後、それから主のことばがエレミヤに来た。
- 2 8 再びあなたは巻物を取り、巻物にある全ての言葉を書け、
- 2 9 そしてあなたはいえ、このように主はいわれる；
あなたは、この巻物を燃やし、いった、「何故あなたはこのように書いたのか、バビロン王は確かに来てこの地を破壊すると語ったのか？」
- 3 0 それゆえ、ユダの王ヨアキムに関してこのように主はいわれる；
彼はダビデの王座に座る子を持たない；
そして彼の死体は昼の暑さ、夜の霜へと投げ捨てられる。
- 3 1 そして私は彼を、そして彼の家族を、そして彼の僕を訪れる：そして私は彼の上に、そしてエルサレムの住民の上に、そしてユダの地の上に、私が彼らに語ったのに彼らが聞かなかった、全ての邪悪をもたらす。
- 3 2 そしてバラクは他の巻物を取り、その上に、本のエレミヤの口からの本の全てのことばを書いた。